

令和4年度
夏のボランティア体験事業
報告書



社会福祉法人 高梁市社会福祉協議会

目 次

1. 夏のボランティア体験事業とは…	1
2. 令和4年度 夏のボランティア体験事業について	1
(1) 目的	1
(2) 生徒の募集	1
(3) 体験活動	7
(4) SDGs	8
○夏のボランティア体験事業 アンケート結果	9

1. 夏のボランティア体験事業とは…

◆目的 ボランティア活動の実体験を通して、社会福祉について理解を深めると共に、ボランティア活動に積極的に参加できるような環境作りを目的とする。

◆対象者 ボランティア活動に関心のある市内に在住もしくは市内の中学校、高等学校、大学に通う生徒及び学生で高梁市内での活動を希望する方

※事業への参加を希望する方は、次の研修会に参加しなければなりません。

○事前研修会

ボランティア活動を実践していく上での心構えについて研修します。

また、活動先との日程調整を行います。

○事後研修会

ボランティア活動をより有意義なものにするため、活動を通じての感動・成果・悩みなどを仲間たちと分かち合う反省会を行います。

2. 令和4年度 夏のボランティア体験事業について

ー昨年から続く新型コロナウイルスの影響により、従来の施設等でのボランティア活動とは違うプログラムを昨年同様実施しました。

(1)重点目標

従来の目的に加え、令和4年度は、災害時における「避難所」に焦点を当て、ワークショップを通じて「自分たちができること」について学ぶ機会を提供することを目的としました。

(2)生徒の募集

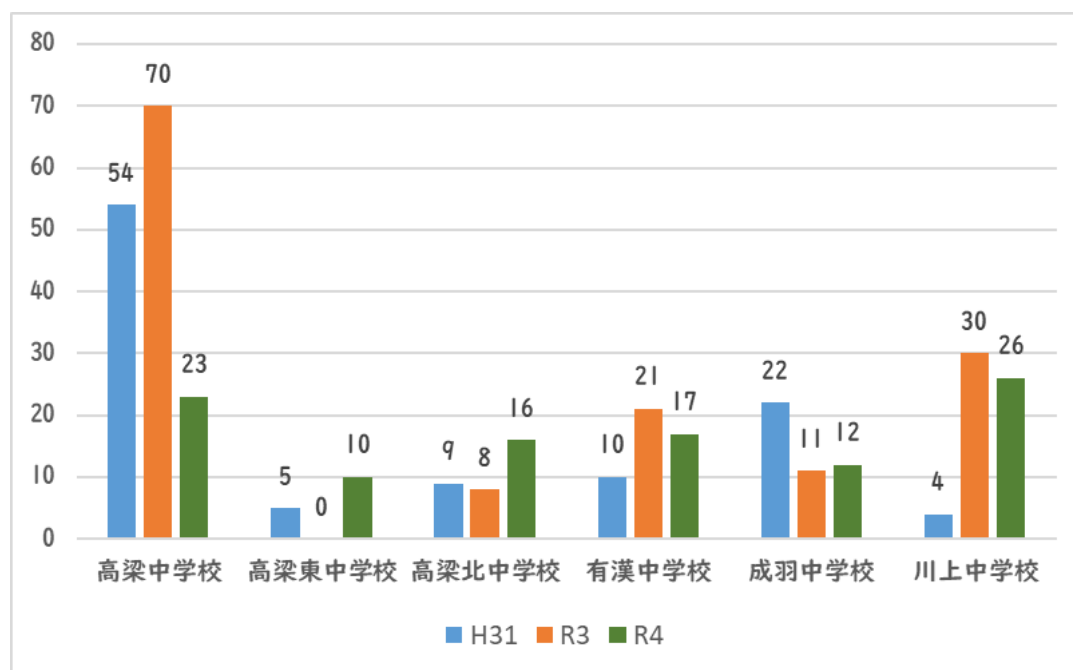
表1、図1、2にある市内の中学校6校を対象に参加者を募集したところ、111人の参加希望がありました。昨年同様中学生のみの募集としました。また、活動は一日で完結するものとし、各学校単位での活動、会場は最寄りの施設を使用しました。その結果、満遍なく各学校からの参加希望があったと考えられます。図3のとおり、参加学年については、3年生が約半数ということがわかりました。今回参加した生徒については、表2に氏名を掲載しています。

【表 1】「学校一覧表及び参加者年度別比較表」

(単位：人)

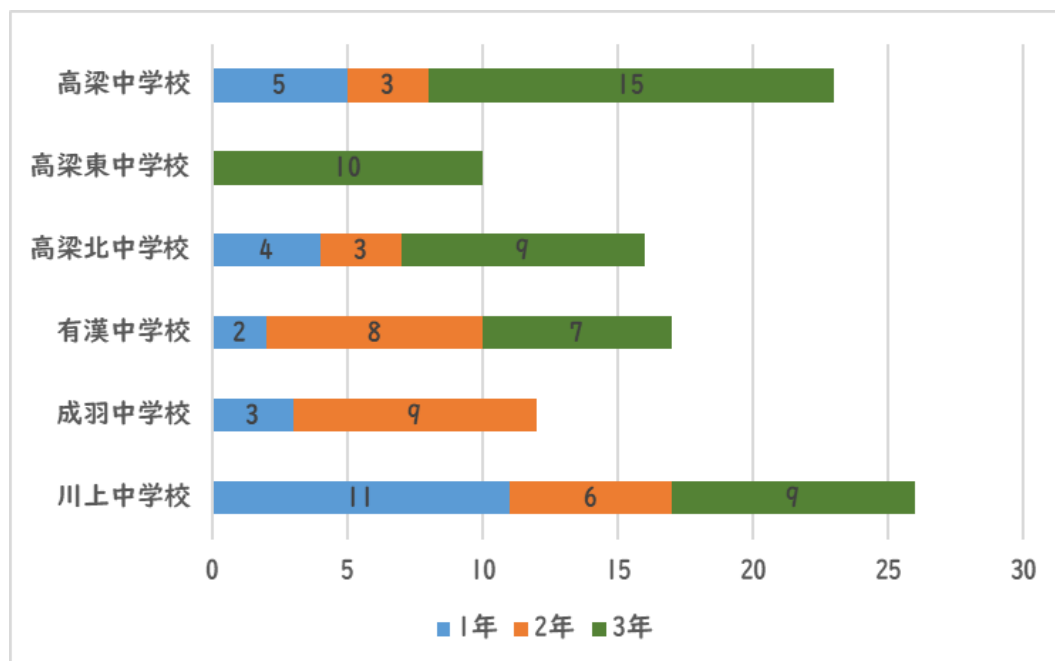
NO	学 校 名	令和 4 年度 (A)		令和 3 年度 (B)		前回比較 (A-B)	
		希望者	参加者	希望者	参加者	希望者	参加者
1	高梁市立高梁中学校	27	23	70	69	-43	-46
2	高梁市立高梁東中学校	10	10	0	0	10	10
3	高梁市立高梁北中学校	16	16	8	8	8	8
4	高梁市立有漢中学校	19	17	21	20	-2	-3
5	高梁市立成羽中学校	13	12	11	11	2	1
6	高梁市立川上中学校	26	26	30	29	-4	-3
合計		111	104	140	137	-29	-33

【図 1】「夏のボランティア体験事業希望者年度別推移」

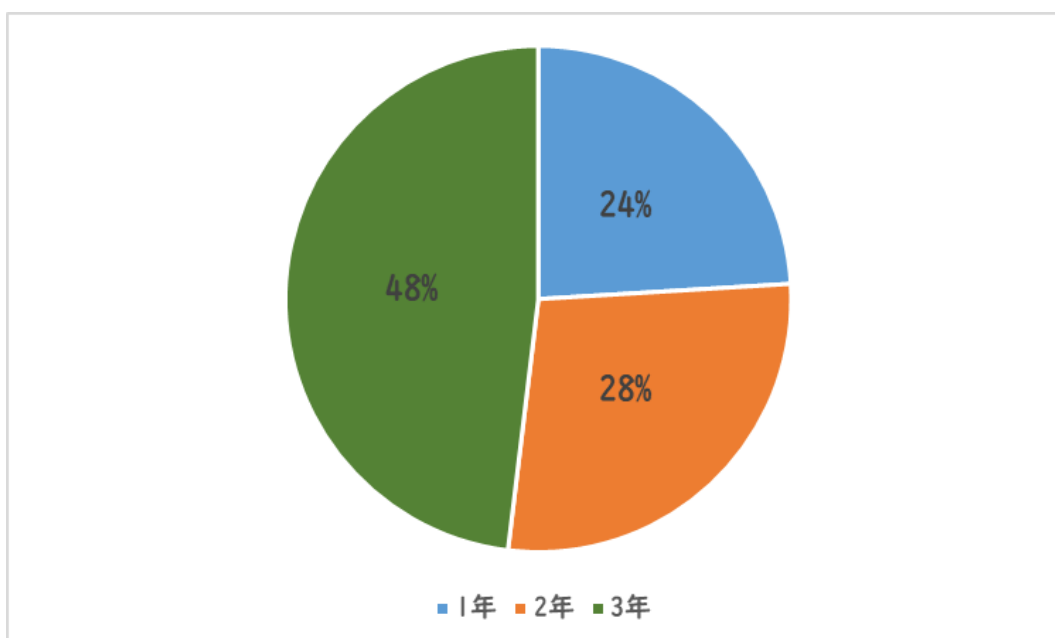


※ R 2 は、新型コロナウイルス流行のため中止しました。

【図2】「令和4年度夏のボランティア体験事業学校別参加学年」



【図3】「夏のボランティア体験事業参加学年」



【表2】「参加者名簿」

◆高梁中学校

学年	氏名
1	大西 夕海
1	小原 大輝
1	太田 紘靖
1	加藤 蒼伶介
1	西平 光希
2	上石 香怜
2	川上 拓真
2	下口 慶夏
3	五百藏 こなつ
3	佐藤 藍香
3	田中 麻央
3	宮田 咲季

学年	氏名
3	宮地 結衣
3	梶村 紅音
3	高田 晃佑
3	平川 奏羽
3	竹竝 瑠菜
3	仁子 リアナ
3	西 夢月
3	佐藤 帆奈美
3	鈴木 まりあ
3	野口 蓮海
3	久利 愛華

◆高梁東中学校

学年	氏名
3	青木 祥太
3	石川 爽太
3	井上 由惟
3	須山 愛依梨
3	仲村 七海

学年	氏名
3	野口 愛梨
3	野見 風花
3	畑 朱音
3	藤森 愛心
3	三尾 はな

◆高梁北中学校

学年	氏名
1	岡本 知世
1	笹田 珠希
1	西口 篤人
1	平 紫音
2	大橋 知夏
2	松田 麗
2	森下 真弥
3	大場 爽一郎

学年	氏名
3	笹田 夏希
3	妹尾 行乃
3	内藤 広直
3	鳴川 敬太
3	藤村 妃苺
3	藤村 実穂
3	宮脇 穂乃香
3	森末 悠希

◆有漢中学校

学年	氏名
1	島田 樹季
1	杉本 琉星
2	大月 凜音
2	小寺 彩葉
2	島田 暖太
2	戸田 大夢
2	土手 彩華
2	中山 愛海
2	松添 蒼介

学年	氏名
3	湯浅 朔徠
3	秋庭 圭亨
3	清原 由美
3	坂本 樟
3	戸清 乃彩
3	原田 龍伸
3	藤井 貫生
3	吉田 隆之介

◆成羽中学校

学年	氏名
1	大塚 晴太
1	渡邊 陽太
2	山室 和真
2	太田 結心
2	大月 結愛
2	岡崎 生吹

学年	氏名
3	金藤 和也
3	関 花恋
3	谷川 里桜
3	中山 開雄
3	三上 朝陽
3	吉實 悠希

◆川上中学校

学年	氏名
1	池田 晴
1	入江 翔麻
1	大内 若芭
1	大塚 るな
1	加藤 未菜
1	唐崎 祐凜
1	川上 駟己
1	川上 歩純
1	川上 海侑
1	福島 夢叶
1	安田 咲奈
2	大山 貴也
2	金子 美怜

学年	氏名
2	田口 陽菜
2	田平 琉央
2	藤井 怜矢
2	三宅 孝之介
3	池田 愛子
3	入江 翔太郎
3	入江 桃花
3	大塚 星周
3	加藤 由依菜
3	曾川 空羽
3	藤井 尚希
3	藤田 翔衣
3	安田 崇太

(3) 体験活動

表3の日程、開催場所で各中学校、また、学年ごとに活動を行いました。当日は、オリエンテーションと、3つのワークショップを実施しました。グループワークで作製した作品については、高梁総合福祉センターにて展示しております。また、活動後に実施したアンケートについては、回答内容を一部抜粋し、資料として活動様子の写真とともに報告します。

○活動内容

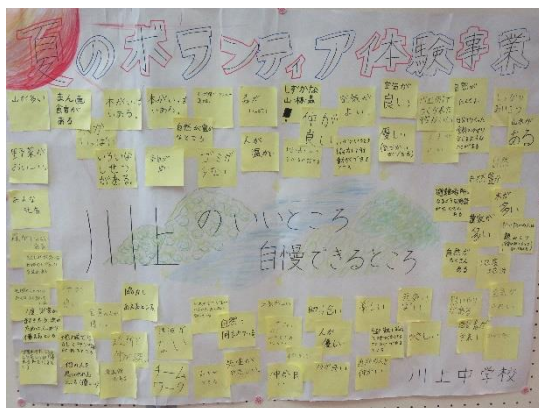
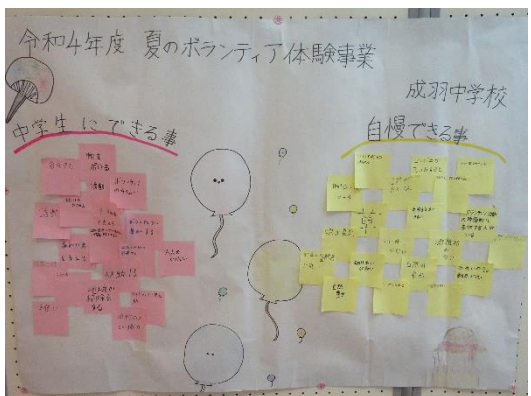
- ・オリエンテーション「ボランティアとは」
- ・ワークショップ①「災害時の避難所について～避難所運営ゲーム HUG から学ぶ～」
- ・ワークショップ②「私たちにできることについて考える」(グループワーク)
- ・ワークショップ③「避難所で快適に過ごすために～段ボールベッドづくりに挑戦～」

【表3】「中学校別開催日時・場所一覧」

中学校名	日時	場所
高梁	1年：7/20（水） 9:00～12:00（受付 8:30～）	高梁総合福祉センター 住所：高梁市向町 21-3
	2年：7/20（水） 9:00～12:00（受付 8:30～）	
	3年：7/23（土） 9:00～12:00（受付 8:30～）	
高梁東	7/21（木） 9:00～12:00（受付 8:30～）	津川総合会館 住所：高梁市津川町今津 1801-1
高梁北	7/22（金） 9:00～12:00（受付 8:30～）	川面地域福祉センター 住所：高梁市川面町 2212-1
有漢	7/26（火） 13:30～16:30（受付 13:00～）	有漢保健センター 2F 会議室 住所：高梁市有漢町有漢 3387
成羽	7/21（木） 9:00～12:00（受付 8:30～）	成羽福祉センター 3F 多目的ホール 住所：高梁市成羽町下原 281-1
川上	7/22（金） 9:00～12:00（受付 8:30～）	高梁市川上保健センター 住所：高梁市川上町地頭 2070-1

(4) SDGs

目標11「住み続けられるまちづくりを」では、災害による被害を抑えるためにも、「災害における強靭さ」が求められています。そのため、今回の体験で避難所運営を学ぶことで、目標11の達成につながるようにしました。



夏のボランティア体験事業

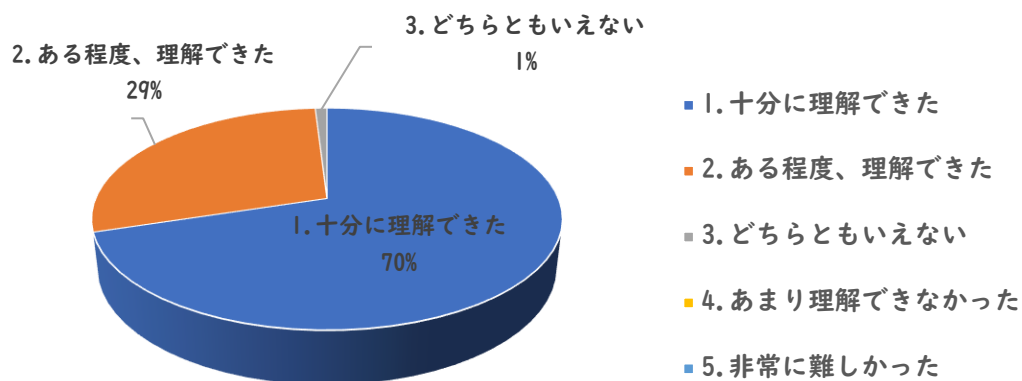
アンケート結果

○夏のボランティア体験事業 アンケート結果(全体)○

夏のボランティア体験事業について、生徒に感想を尋ねました。

質問① ボランティアについて、どの程度理解できましたか。

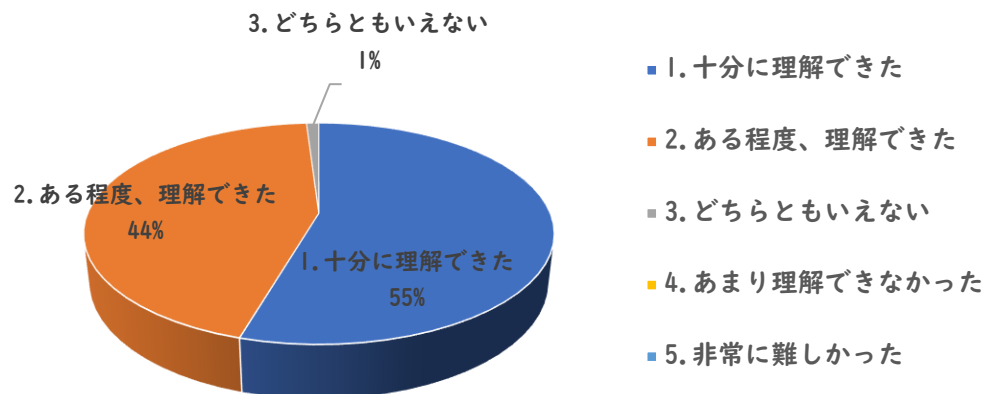
No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	73	70%
2	ある程度、理解できた	30	29%
3	どちらともいえない	1	1%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%



※9割を超える生徒がボランティアについて理解できたと回答した。

質問② SDGsについて、どの程度理解しましたか。

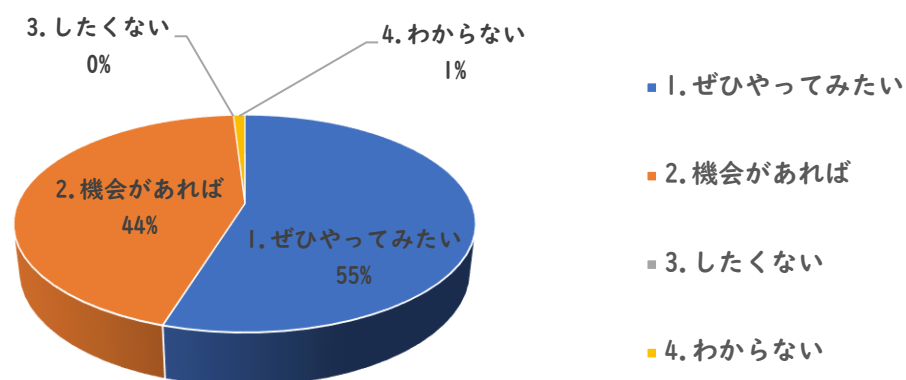
No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	59	57%
2	ある程度、理解できた	44	42%
3	どちらともいえない	1	1%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%



※ 9割を超える生徒が、SDGsについて理解できたと回答した。

質問③ 今後、ボランティア活動をやってみたいですか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	ぜひやってみたい	57	55%
2	機会があれば	46	44%
3	したくない	0	0%
4	わからない	1	1%



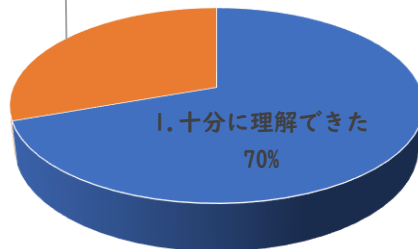
※ 9割を超える生徒が、今後もボランティア活動をしてみたいと回答した。

◎アンケート結果(高梁中学校)◎

質問① ボランティアについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	16	70%
2	ある程度、理解できた	7	30%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%

2. ある程度、理解できた
30%

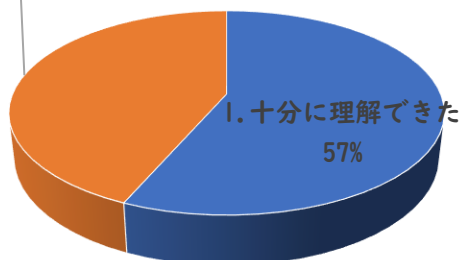


- 1. 十分に理解できた
- 2. ある程度、理解できた
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 非常に難しかった

質問② SDGsについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	13	57%
2	ある程度、理解できた	10	43%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%

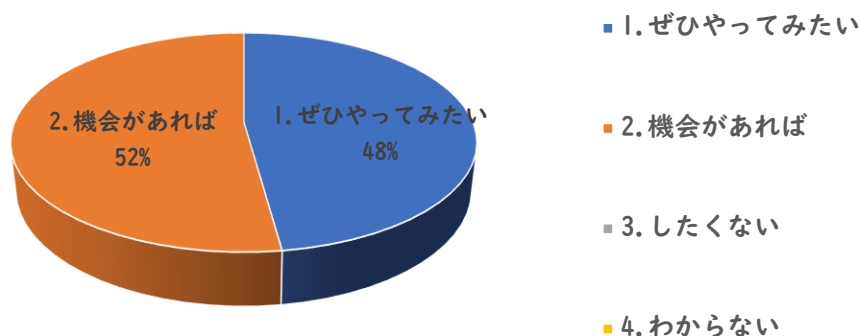
2. ある程度、理解できた
43%



- 1. 十分に理解できた
- 2. ある程度、理解できた
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 非常に難しかった

質問③ 今後、ボランティア活動をやってみたいですか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	ぜひやってみたい	11	48%
2	機会があれば	12	52%
3	したくない	0	0%
4	わからない	0	0%



質問④ 夏ボラに参加してみて学んだこと、感じたことを自由にかいてください。

主な回答

- ・ボランティア活動は、災害の時に手伝ったり、その場にあった動きをするのだと思っていただけそれ以外にも、ベッドを作ったり、子供たちと遊んだり助け合うことが大切！！自分たちだけでもできることはある！！
- ・段ボールベッドを作るときは、仲間と協力しながらできました。仲間と考えて楽しくできたので良かったです。
- ・段ボールでもベッドなども作れて、段ボールはいろんなものを作れて役に立つことを知った。
- ・避難所運営ゲームを通して、避難所の運営がどれだけ忙しく大変かと学んだ。学校だと、部屋数の把握も必要だし、ペットや持病のことも考えないといけないので、頭を働かせないといけないと思った。
- ・今までの災害時にも今日学んだボランティア、SDGs が活用されていたから、これからの災害時には、自分から進んでボランティアやサポートができると感じた。災害などが起こるとより、人との協力が大切になってくることを今日の段ボールベッドでより考えることができた。
- ・災害時には、できることがたくさんあるので考えたいなと思った。
- ・自分にできることは意外とあることが分かった。だから災害が起こった時にしたいなと思った。ボランティアをする人はすごいなと思っていたので、今回の夏ボラに参加出来て、少しは役に立ったのかなと感じた。

・ボランティアをしてみたいなと前から思っていたが、今回の体験事業に参加したことで、自分ができることや、やらなければいけないことが学べて地域の役に立ちたいと思った。

・何事にも協力ということや、コミュニケーションを他人ととることが大切だと実感した。

・私は班で西日本豪雨の時に被害にあわれて方々の家に行き、泥かきや、家具の運び出しなどをしてみて、大変さなどを実感したのでもし、災害が起きてしまったら進んで、泥かきや、家具の運び出しなどをしようと今回の体験事業を通して改めて思うことができました。

など

活動の様子



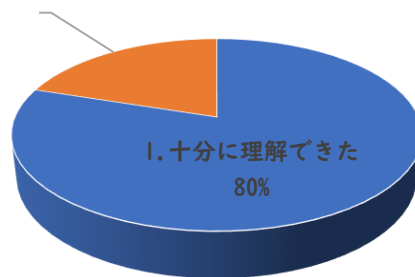


◎アンケート結果(高梁東中学校)◎

質問① ボランティアについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	8	80%
2	ある程度、理解できた	2	20%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%

2. ある程度、理解できた
20%

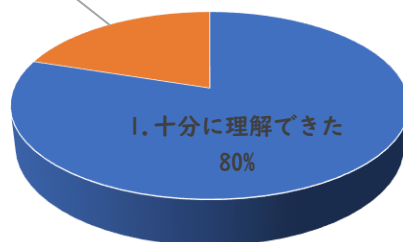


- 1. 十分に理解できた
- 2. ある程度、理解できた
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 非常に難しかった

質問② SDGsについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	8	80%
2	ある程度、理解できた	2	20%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%

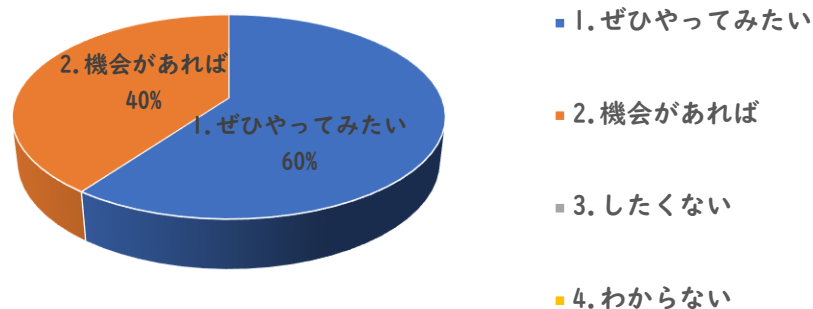
2. ある程度、理解できた
20%



- 1. 十分に理解できた
- 2. ある程度、理解できた
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 非常に難しかった

質問③ 今後、ボランティア活動をやってみたいですか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	ぜひやってみたい	6	60%
2	機会があれば	4	40%
3	したくない	0	0%
4	わからない	0	0%



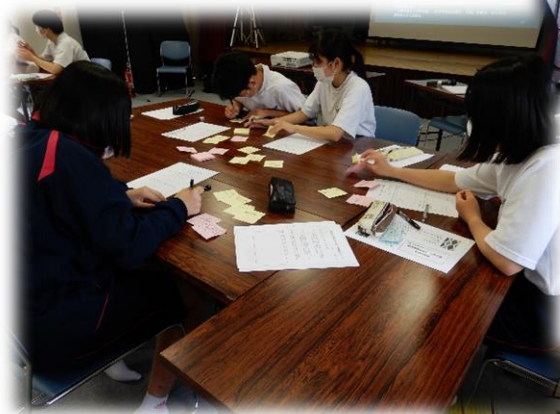
質問④ 夏ボラに参加してみて学んだこと、感じたことを自由にかいてください。

主な回答

- ・それぞれの事情などがあるので「避難」と一言で言っても簡単ではないとわかった。避難所生活をする中でも、快適に過ごす方法が分かった。炊き出しとかやってみたいと思った。
 - ・ボランティアという言葉は知っていたが、実際に体験してみると大変でした。人の役に立つと考えるとボランティアに参加することはよいことだなと思った。
 - ・夏ボラで災害があったときに自分にどのようなことができるかわかったので、災害はないほうがいいけどあれば、今回学んだことを活かしたいです。
 - ・避難している時にみんなで協力することが一番大切なことだと分かった。これからいろんなボランティアに積極的に参加していきたいと思った。
 - ・みんなとこのボランティアに参加してみて、段ボールベッドを作ったり、災害が起こった時にできること、カードを使ったゲームなどたくさんのことが学べてとてもいい勉強になりました。
- など



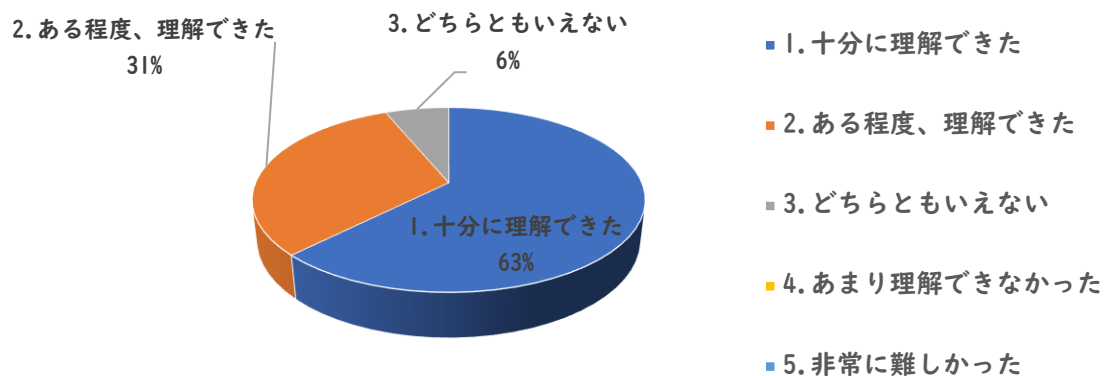
活動の様子



◎アンケート結果(高梁北中学校)◎

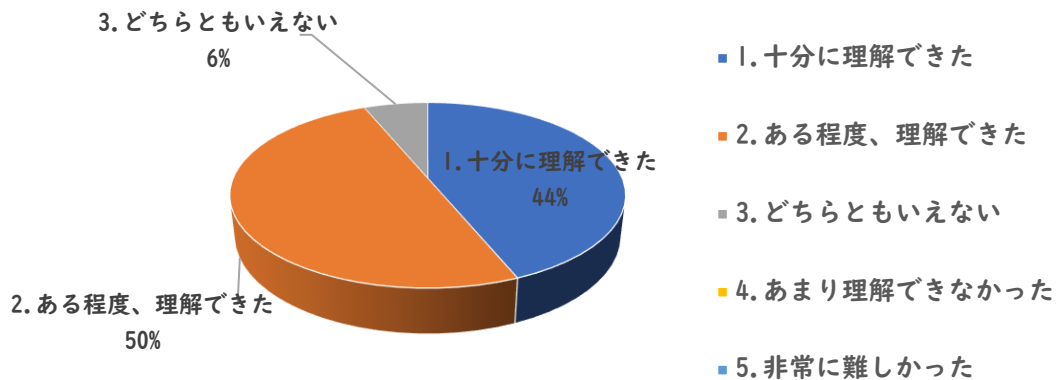
質問① ボランティアについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	10	63%
2	ある程度、理解できた	5	31%
3	どちらともいえない	1	6%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%



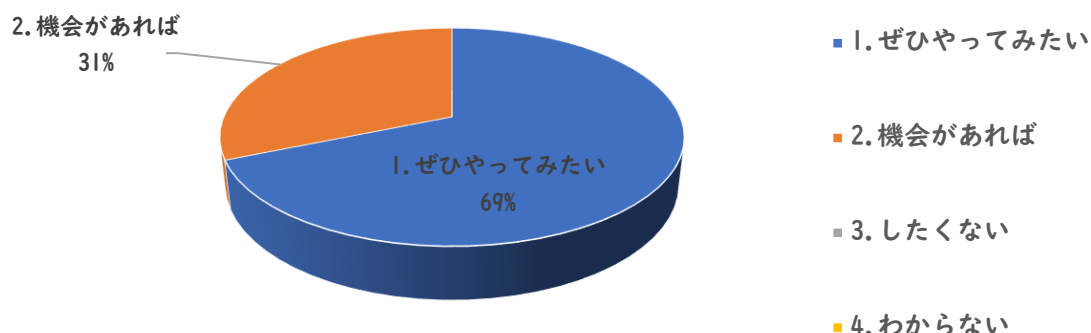
質問② SDGsについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	7	44%
2	ある程度、理解できた	8	50%
3	どちらともいえない	1	6%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%



質問③ 今後、ボランティア活動をやってみたいですか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	ぜひやってみたい	11	69%
2	機会があれば	5	31%
3	したくない	0	0%
4	わからない	0	0%



質問④ 夏ボラに参加してみて学んだこと、感じたことを自由にかいてください。

主な回答

- ・周りの人と協力して段ボールベッドや HUG などができて良かった。これから災害の時はお手伝いをしたい。ボランティアの意味を知れてよかった。
- ・ボランティアには、きちんとした心構えや考え方、仕組みがあると分かった。また、ボランティア活動を災害ボランティア活動は少し違うことも分かった。これからは、自分にできることからボランティアをしていこうと思う。
- ・HUG ゲームを通して、限られた場所にどのように人を入れていくかなど、考えながらするのが難しかった。また、段ボールベッドを作る際にも、どのように組み合わせると良いかなど、強度を上げればよいかなど、仲間と協力しながら考えながら取り組むことができた。今回学んだことを災害時やいろんな場面で使ってみたい。
- ・災害の時に中学生の自分たちでもできることが何なのかを理解することができた。だから自分が避難した時にできるようにしたい。避難所運営ゲームをやって避難所運営することや、避難所にはどんな役割があるのかを理解できた。
- ・ボランティアというのは、特別なことすごいことだと思っていたけど、そうではなくて当たり前人と人が助け合う協力しあうことだということが分かった。そして、人と協力することで楽しくできた。難しいことや問題も出てくる中で、地域の人や友達との関わりも大切にしなければならなかった。
- ・段ボールベッドを作ったり、人を区別して場所へ行かせるのはとても大変だったので、本当にすごいと思ったし、私たちの地域には誇れることがたくさんあることも知った。

ボランティアを私もして、助けられる人になりたいと思った。今日は、とても自分のためになることが身についてよかった。

・ボランティアをするのは初めてだったけれど、楽しくみんなと協力してできたので良かったです。避難所運営ゲーム HUG から学ぶでは、たくさんの人をその人にあった場所に配置しなくてはいけないので大変だった。でも、みんなで意見を出し合えるので良いと思いました。私たちにできることでは、みんなの意見がたくさん聞けて良かったです。段ボールを作るときには、難しかったけど、最後には完成できて良かったです！ など

活動の様子

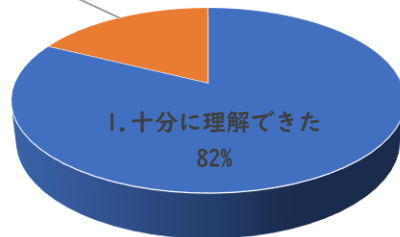


◎アンケート結果(有漢中学校)◎

質問① ボランティアについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	14	82%
2	ある程度、理解できた	3	18%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%

2. ある程度、理解できた
18%

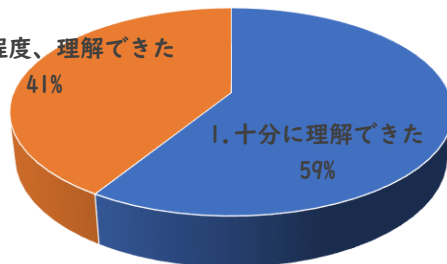


- 1. 十分に理解できた
- 2. ある程度、理解できた
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 非常に難しかった

質問② SDGsについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	10	59%
2	ある程度、理解できた	7	41%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%

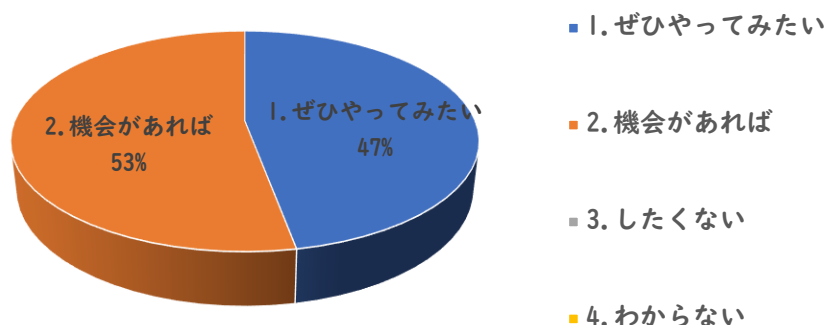
2. ある程度、理解できた
41%



- 1. 十分に理解できた
- 2. ある程度、理解できた
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 非常に難しかった

質問③ 今後、ボランティア活動をやってみたいですか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	ぜひやってみたい	8	47%
2	機会があれば	9	53%
3	したくない	0	0%
4	わからない	0	0%

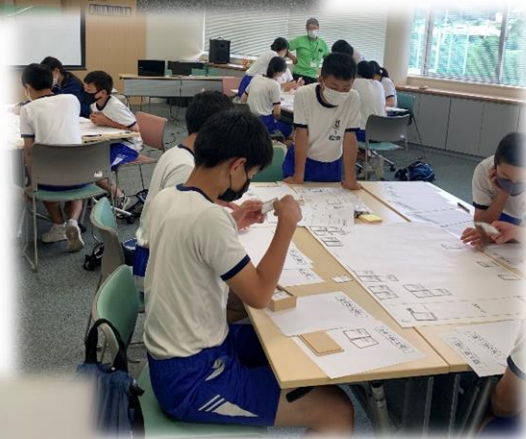


質問④ 夏ボラに参加してみて学んだこと、感じたことを自由にかいてください。

主な回答

- ・避難してきた人への指示やどこの部屋にわけると考えたけど、とても難しく指示している人はすごいと思った。
- ・ボランティアは気軽にできるとわかった。
- ・今回夏ボラに参加してみて避難場所はただ人をいれるだけでなく、体調、年齢などに着目して入れないといけないという事を学んだ。
- ・災害が起こった時、自分には何ができるのか考えたことがあまりなかったから、今日考えてもし災害が起きたときに行動できるようにしたいと思った。
- ・避難所に行って、自分たちはどのようなことができるか考えることができた。実際にできるかどうかわからないけど、頑張りたい。
- ・ボランティアの重要さや大切さについて学ぶことができた。小さな地域でもお互い助け合いながら生活していくことが大切と改めて感じる事ができた。ボランティアの目的を考えてしっかりと夏のボランティアに参加することができた。
- ・自分たちに何ができるか、考えることや、それを行動に移すことが大切なんだと知った。
- ・高齢者の人たちをどの階にするとよいかや、ペットを飼っている人、ケガをしている人、たくさんの人の事を考えて話し合うことができた。 など

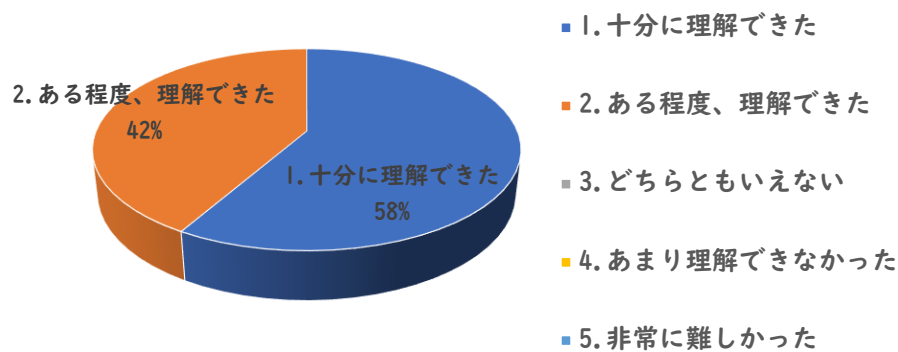
活動の様子



◎アンケート結果(成羽中学校)◎

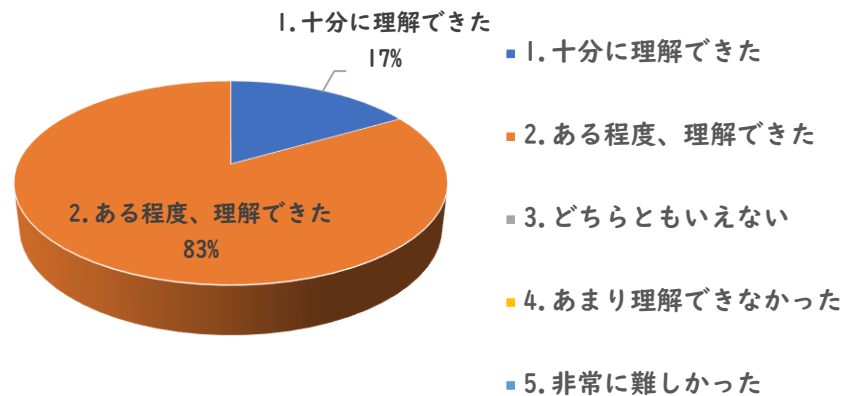
質問① ボランティアについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	7	58%
2	ある程度、理解できた	5	42%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%



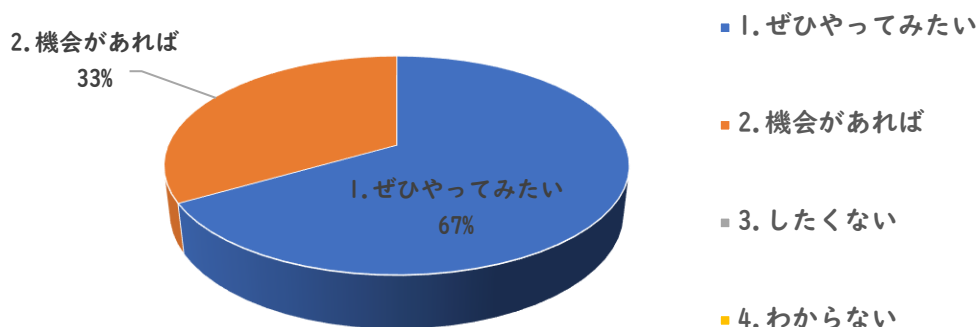
質問② SDGs について、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	2	17%
2	ある程度、理解できた	10	83%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%



質問③ 今後、ボランティア活動をやってみたいですか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	ぜひやってみたい	8	67%
2	機会があれば	4	33%
3	したくない	0	0%
4	わからない	0	0%



質問④ 夏ボラに参加してみて学んだこと、感じたことを自由にかいてください。

主な回答

- ・段ボールでベッドをつくるのは大変だと分かった。
- ・班のみんなでのカードゲームもとてもたのしくて部屋割りの大変さが良く分かりました。もっとたくさんの事を理解できるように来年も参加したいと思いました。
- ・「〇〇について」など知らないことを詳しく説明して下さったのすごくわかりやすかったです。毎回、実際にしてみることができるとのすごく楽しいです。
- ・災害時にすべきことを考えることができた。
- ・ボードゲームをやってみてどれだけ大変かが分かった。どこに置くかや、どこに案内するかすぐに判断しないとどんどん人が来て対処できなくなると分かった。段ボールベッドを作るときは、段ボールの中に段ボールを入れないとつぶれるとわかった。もし災害があったら、この経験が生かせるようになりたい。
- ・ボランティアの必要性が分かった。 など

活動の様子

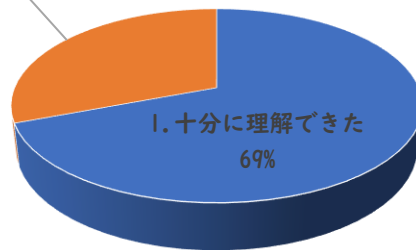


◎アンケート結果(川上中学校)◎

質問① ボランティアについて、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	18	69%
2	ある程度、理解できた	8	31%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%

2. ある程度、理解できた
31%

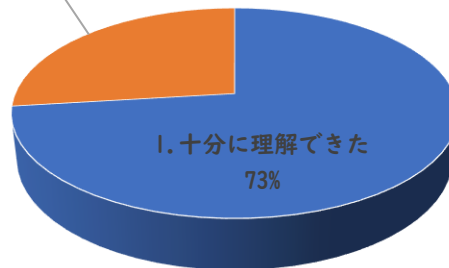


- 1. 十分に理解できた
- 2. ある程度、理解できた
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 非常に難しかった

質問② SDGs について、どの程度理解できましたか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	十分に理解できた	19	73%
2	ある程度、理解できた	7	27%
3	どちらともいえない	0	0%
4	あまり理解できなかった	0	0%
5	非常に難しかった	0	0%

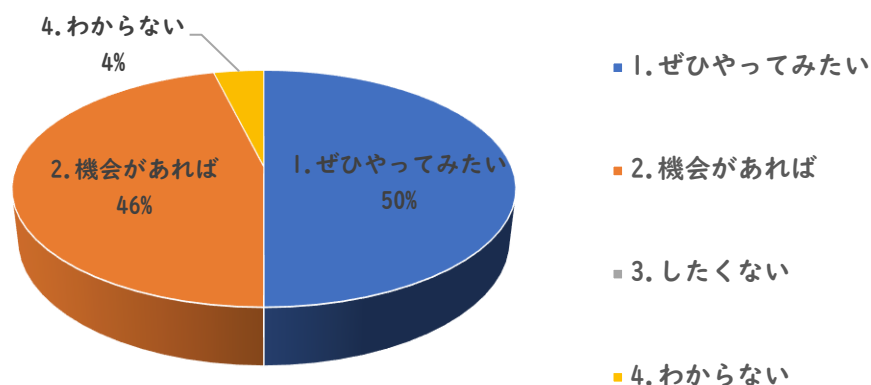
2. ある程度、理解できた
27%



- 1. 十分に理解できた
- 2. ある程度、理解できた
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 非常に難しかった

質問③ 今後、ボランティア活動をやってみたいですか。

No	選択肢	回答数(人)	割合
1	ぜひやってみたい	13	50%
2	機会があれば	12	46%
3	したくない	0	0%
4	わからない	1	4%



質問④ 夏ボラに参加してみて学んだこと、感じたことを自由にかいてください。

主な回答

- ・災害の体験が覚えていないけれどもし災害が起きたらこの学んだことを活かしていきたいです。
- ・災害が起こったときに、自分ができることや、川上町のいいところなどを考えることができた。
- ・段ボールベッドは、いろいろな人が乗れるようにしっかりとチームの人と工夫して、乗る人が不安にならないためにしっかり考えて作ることができた。
- ・初めて夏ボラに参加しました。みんなと協力してたくさんことができました。とても楽しかったです。そして、夏ボラは、ボランティアについて、深く知り、実際にしてみて、とても楽しいものだとなりました。また、夏ボラに参加したいです。
- ・段ボールは、いろいろな工夫をするといろいろなことに使えたり家に段ボールがあったりしたらベッドなどを作りたいです。
- ・自ら進んで社会活動が無償ですることは、とてもやさしい心がないとできないと思いますが、私も少しずつやっていってみたいと思った。
- ・ボランティア活動は、自分の意志で行動することが大切だと分かりました。初めて夏ボラに参加して、災害時に自分たちにできることなどを考えて良い体験ができました。また夏ボラやボランティア活動にも参加したいです。
- ・災害発生時に自分たちができることが避難所のボードゲームをチームの人と話し合いどうすればよいのか分かった。

- ・災害時体育館にどの人にどこに入ってもらおうかのボードゲームをしたときに、足が不自由な人は下の階の方がいいとか、動物を飼っている人は集まった方がいいなどグループの人で話し合いながらできた。
- ・今までボランティアに対してあまり良いイメージがなかったけど、ボランティアのきっかけがよくわかった。
- ・災害時にボランティアがいかに大切かを学ぶことができて良かったです。機会があれば、今日学んだことを実践できるようにしたい。
- ・みんなで協力して何かをするのはいいことだし大切だと思った。問題を解決するには、協力して取り組む、積極的に行動することが大切だと分かった。 など

活動の様子



○令和４年度 夏のボランティア体験事業を通して

昨年度実施したアンケート結果の、災害ボランティアに興味のある生徒が多かったことから、今年度は災害をテーマとした夏ボラを実施した。避難所運営ゲーム HUG や、段ボールベッドの作製を通じて、災害時にはどんなことがボランティアによって行われているのかを知ってもらうことができたと考える。

また、地域の一員として SDGs 目標 11 に関連して、地域の良いところ、自慢できるところを考えた。

今回の体験が、さまざまな状況下で自分たちにできることについて考え、積極的にボランティアに取り組むきっかけになれば幸いです。

令和４年度 夏のボランティア体験事業報告書

※令和４年度 夏のボランティア体験事業報告書は、ホームページにも掲載しています。

HP : <http://www.takahashi-shakyo.org/>

(発行) 社会福祉法人高梁市社会福祉協議会

〒716-0029 高梁市向町 21-3

TEL : 0866-22-7243 FAX : 0866-22-0845

E-MAIL : yatosa@mx9.tiki.ne.jp